

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・朝や昼時はいつもとあまり変わらないが、昼以降の来客数は大幅に増加している。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの5日間のセールで、販売量は増加したが、単価が低く客の財布のひもは依然として固い状況である。
		一般小売店〔酒店〕（営業）	販売量の動き	・ゴールデンウィークなどの効果があり、売上は若干増加した。子ども手当の申請も始まり少し効果が出ている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・3か月前に比べ客単価が2%程度上昇してきている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・販売点数、単価とも前年を1~1.5%上回っている。青果物の単価も落ち着き、買上点数や単価が上昇しているのは少し良くなっていると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客数は横ばいだが、客単価が前年比3.5%上昇しており、先が少しみえ始めた。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で改善がみられる。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・5月の販売状況は対前年141.3%と良くなっている。昨年の補助金効果は6月より始まっており、5月までの前年比は良くなっている。
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・消費者は、節約に飽きて、ちょっとしたぜいたくをしたい気分なのではないか。そんなに高額ではないが、そこそこの価格帯のものが出ている。
		その他専門店〔和菓子〕（営業担当）	来客数の動き	・客単価に変化はないが、客数が増えている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・今月に入り、ランチタイムの来客数が伸びてきている。ディナータイムはほぼ変動はないがトータルではじわじわと売上は伸びつつある。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・昨年は自粛ムードだった宴会・会合等が少しずつ回復している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・1人当たり売上は前年比10%以上、全体としてもプラスとなっており、運転手間の会話も明るくなり十分期待が持てる。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間の来園者数が前年比増となった。春季イベント開催期間に加え好天が続いたことで行楽利用が順調に伸びている。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数が順調に計画通りに伸びている。		
競艇場（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークのレースで集客できた。		
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量において約1割増加している状況にある。ようやく客の来場、購買意欲が受注量にまで反映されつつある。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街は客の流れがなく、はしからはしまでが見通せる。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子が今までと少し変わってきて、商品をよく吟味、厳選して購入しており、必要な物だけあるいは必要な物しか、買わない傾向が強くなっている。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・気温の変化が激しいため、客が行動を決めかねている。	
	一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・大手からの注文はあるものの、中小企業や一般客からの注文は少ない。	
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・販売客数では前年を上回る部門もあるが、客単価の下落により売上は前年を下回っている。	
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・来客数の増加傾向が続いている。相変わらず高級婦人服、宝飾など富裕層の購買は堅調ではあるが、食品、一般ボリュームゾーンの動きは依然として前年に比べマイナスで推移している。4月の長雨、5月の気温差もファッションにはマイナス要因の一つとなる。	

百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年同月比でみると売上は、ほとんど変わらない状況である。これを回復の兆しとみるか、昨年が悪かったのだから、平行線とみるか、意見は分かれるところである。全体的には平行線でも、個々のテナントの売上をみると、苦戦はしているが、持ち直しの動きがみられるようになった。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・毎月食品については売上も順調で、どのような企画も実績が残せていたが、ここにきてストップしている。逆にこれまで苦戦していたプレタポルテと言われる高級層の洋服の売上が増加している。これらことから、いい物を求め購入する客が増えてきており、これまでの安い物一辺倒から若干変わってきている。子供服については、子ども手当の支給があるということで、前倒しで物を購入するより、実際の支給があって、購入を検討するという客が多い。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・衣料品やUV関連商品などの身のまわり品は店頭で堅調に推移しているが、化粧品及び高額品の外商外販活動商材の動きが鈍く、全体の売上を押し下げている。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・一部では客の節約志向は改善され売上高、来客数が前年実績をクリアする部門もあるが、全般的には客の節約、買い控え傾向は続いていると思われ、景気が回復しているという実感はない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価、買上点数共に上向いてはいない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・客の販売意欲が徐々にではあるが上昇している。ただし、以前にも増して割引販売時及びポイントセールに客が集中する傾向が強みられる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・5月は、特にゴールデンウィーク明けから消費が鈍く、客単価が伸びない状況となっている。また、雨の日は、今まで以上に買い控えが発生しており、デフレ傾向で客は安くても必要な物しか購入しない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・昨年のこの時期も来客数が前年を割っていたが、本年はその数値さえもクリアできていない状態で、来客数が全く回復しない。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は変化がない状況である。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上が順調であった昨年に比べ、新年度は苦勞している。5月、需要は回復傾向で販売量は増加してきているものの、同業他社との競争や価格低下傾向が続くほか、取引が減少した一部の新規店舗もあることから、昨年実績ぎりぎりの状況で推移している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・行楽シーズンが終わり、身の回りに目新しさが感じられない。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・5月上旬は気温が高かったが、中旬から下旬にかけて低くなったため、初夏物衣料の売行きが悪い状況である。
衣料品専門店（販売促進担当）	お客様の様子	・今月は来客数も前年に比べると120%と伸びているが、客単価が下がり昨年並みの売上である。寒かったり暑かったりと天候不順で、春物と夏物とで日によって売れる物が変わっており、客も着る物を選ぶのに困っている感じである。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・前年比でみると、登録台数は大幅増加しているが、昨年が悪すぎた数値なので手放しでは喜べない。客の動き、商談にかかる時間、日数が長く、顧客以外の新規の客は、ほとんど買い廻り客であり、価格競争を余儀なくさせられている。この状況はここ数年ほとんど変わらない。
乗用車販売店（サービス担当）	来客数の動き	・当店以外の店で車両を購入した客の来店が少ない。入店しても財布のひもは固く、即決での成約がほとんどない状態である。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・エコカー購入補助金延長の効果が期待したほどは出ていない。
自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・タイヤやナビゲーション等、高額商品の単価低下が続いている。数量ベースでは前年を上回るものの単価が低いものがシェアを伸ばし、結果的に金額ベースでは前年を維持するのが厳しくなっている。

	その他専門店 [布地] (経営者)	単価の動き	・当地は景気の回復が遅いのか、客に商品を勧めても客は依然として価格を相当気にしている。
	その他専門店 [海産物] (支配人)	単価の動き	・客の購買単価は依然として低いままで、決して景気が上向いているとは思えない。
	スナック (経営者)	お客様の様子	・客からは「悪い」という声しか聞こえてこない。
	その他飲食 [ハンバーガー] (経営者)	来客数の動き	・マーケット内に新店がオープンし、一年経過したが既存店の来客数が好転しない。また、客単価も落ちたままであり、売上はまだ厳しい状況である。
	観光型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・特に良くなる兆しもなく、何も変わらない。
	観光型ホテル (経理総務担当)	販売量の動き	・好調であった個人客の利用に陰りが見えるが、この時期、各種団体の総会需要が売上を補填している。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・前月に引き続き宿泊客数・宴会利用客数共に前年に比べ大きな変化はない。
	都市型ホテル (総務担当)	販売量の動き	・予算に対し実績が大きくかけ離れている。予算作成時に見込んでいたものがキャンセルになったり、実際になって宴会予算の大幅見直しによる割引があったりと、苦戦が続いている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・5月はイベントが多く利用客の増加を期待したが、客の動きをはじめ、全体の雰囲気が悪くなっている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3、4月は歓送迎会や人事異動等による夜の利用や、天候も良くなって観光目的の昼の利用が活発で売上は前年を上回ったが、5月に入りゴールデンウィーク時期を、個人や家族で過ごされた影響で非常に厳しくなっている。なお、夜の飲食店は相変わらず閑散とした状態が続いている。
	通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・商品単価の低下傾向は基調となっていて変わらないが、販売量は、若干上向きの動きになっている。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新規ネットワーク構築の商談はあまりなく、経費削減のためのネットワーク更新の商談が多い。
	テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・3月から気温が低く、雨の多い天候の影響で来客数は思ったほど伸びず前年並みとなっている。団体は募集ツアーを中心に上向くなど、良くなる兆候はあるが、天候に邪魔されている感がある。
	ゴルフ場 (営業担当)	単価の動き	・同業者が単価を下げるため、当社も安いプランでの対応となる。入場者数の変化はないが、全体的に売上が落ちている。
	美容室 (経営者)	競争相手の様子	・同業者に聞いても今はどうしたら良いのか分からない状況である。
	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・倒産の話は出ないものの良い話はなく、地方経済の落ち込みはまだ続くようである。
	設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・新築物件の注文はなく、民間確認検査機関からも申請件数が減ったとの声を聞く。
	設計事務所 (経営者)	競争相手の様子	・先月、今月と、廃業を決めた同業者の話聞いた。これまでの顧客からの引き合いがなくなり、建築に関して景気が上向く兆しがみえないなか、競争の激化についていけず廃業している。
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	販売量の動き	・客は非常に慎重で消費意欲がみとれない。
	商店街 (代表者)	単価の動き	・ベビー、子供服の専門店だが、客の購買姿勢は月を追って厳しくなっている。客は今欲しい物をより安く、来年も着られるような物を、またその商品がバーゲンに出るかどうかも検討する等、非常に慎重でいるなことを考えており、店は非常に厳しい状況が続いている。
	一般小売店 [茶] (経営者)	販売量の動き	・総会シーズンに入り、異業種の方とコミュニケーションを取っているが厳しいようで、前年割れが普通のようなものである。
	一般小売店 [酒店] (経営者)	お客様の様子	・特にゴールデンウィーク後からの動きが悪い。街中も閑散としており活気がない。飲食店の売上も低調で、先月に比べ注文量が減少している。天候不順が原因の一つに考えられる。

	一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はゴールデンウィークより増えたまま好調を維持しているが、店に入って何も商品を購入しない客も増えており、客の購入意欲の低下で、景況感は良くない。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク、母の日までは全商品が好調であったが、後半気温の低下もあって、サンダルなどの季節アイテムは苦戦した。全体では比較的婦人衣料が好調で、店全体では前年比97%～98%に落ち着く。	
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・相変わらず低単価の商品しか売れず、買上個数も減少し、客単価ダウンによる売上低下が続いている。	
	衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・新しい商品を出しても売上が期待できず、セールを実施しないと売上が伸びない厳しい状況である。	
	家電量販店（店長）	お客様の様子	・店でイベントを行い来客数はかなり増えたが、購買にはつながらず、客には楽しみのイベントと捉えられている様子である。	
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	お客様の様子	・週末の売上が前年に比べ下がってきており、買い控え傾向になっている。	
	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・地域性もあるが、都心の参加者の宿泊バスツアーが減少している。	
	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・沖縄の基地返還問題・宮崎の口蹄疫問題などの国内問題の報道で、旅行に対する顧客の意欲やムードが顕著に見受けられない。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークや天候不順の影響で利用客が少なく、ここ5～6年では最も悪い状況である。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・昨年と比べ来客数が少しずつ減少してきており、単価は維持できても、全体としては売上が減少している。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客は自営業者が多く、3か月前は年度末で計画外の仕事もありかなり忙しい状況だったが、新年度に入り、新しい仕事はなく、休みや暇な時間が多いという話をよく聞く。	
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・給与が減り、消費意欲の減退がみられる。	
	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・ギリシャ財政危機で、日本でも株式市場が低迷しており、日本の景気が後退しているとの感覚が顧客にもあり、5月から動きが悪くなっている。	
悪くなっている	スーパー（財務担当）	単価の動き	・ゴールデンウィーク期間中は比較的順調に推移したが、ゴールデンウィーク明けから再び節約志向に戻り、客単価が低下している。	
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が昨年に比べて20円～30円低下しており、客はより安いものを求める傾向にある。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年5月は良くないが今年はゴールデンウィークが明けても悪く、夏物のウインドウショッピングさえ減っている。	
	住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・単価の低下が止まらない。	
	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・都市部では、貴金属、高級時計など、付加価値の高い商品の売行きが回復してきていると報じられているが、地方は景気の悪化が更にひどくなっている。観光客向けの土産の単価もひとところより低下している。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・毎年5月は大規模な祭りがあるが、今年は今までにない集客の落ち込みである。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けから非常に悪くなっている。	
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	食料品製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・製造を委託している工場の稼働率が上昇しており、低価格商品の受注が増えている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車・電機関連向けの受注に明るさがみられる。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連・エレクトロニクス関連の部品受注が堅調に推移している。

	輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて受注量が増加し、残業や休日出勤で対応している。
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・昨年度からの設備投資案件が受注されるようになり、若干ではあるが受注件数が増加している。継続的なものか否かは判断できないが、3か月前と比べやや持ち直している。
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・国内生産は前年比プラスを継続し、残業・休日出勤が増加基調であり、会社は増収増益基調にある。
変わらない	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・夏場商戦の売上の目途がたっており、商品や秋冬物についての今後の方向性も不透明である。
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・世の中の企業業績は回復基調だが、主にコスト削減による緊縮型であるため、個人所得が圧迫されたものとも言え、消費性向が継続的に上昇する実感がまだない。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・今月はゴールデンウィーク前の出荷により在庫が減少し、その補充で前月並みの生産を行ったが、出荷量は低水準で在庫量が計画通り増加している。大口の引き合いもない状態が続いている。
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・電気電子関連向け出荷は好調だが、景気回復の感じはない。需要先も国内に限定していない。
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はここ3か月横ばいであるが、生産能力の半分程度しかなく、厳しい状況が続いている。
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場では、需要が増加傾向にあり売上も回復しつつあるが、北米を中心とした海外市場の回復は依然として見られない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・報道等では、工業その他で景気回復の兆しがあると言われているが、我々の地方、我々の業界では、とりたてて変化はなく悪く推移している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず受注の先行きの予測が立たない状況である。
	輸送業（統括）	それ以外	・当社は複合の業務を行っており、ある業務では売上が増加しているが、他の業務では今年の50%となっているため、あまり変化は感じられない。
	輸送業（運送担当）	取引先の様子	・運送業者からの発送物量が引き続き減っている。
	通信業（部門長）	取引先の様子	・特別、景気が好転したわけでもなく、販売に関する売上等に変化はない。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・今月に入り、取引先の経営者との話で、最近の月次での売上が前年比横ばいとなったとの報告を受ける機会があった。ここ数年間、売上は年々下がっており、悲観的な発言が多かった。それが少し業績に関し前向きな話も聞けるようになっており、実感として下げ止まりが始まったとの印象を持てるようになってきている。
会計事務所（職員）	取引先の様子	・年度末の慌しさが一段落したせいもあるが、製造業、建設業に例年のような受注の活気がみられない。件数的に低下しているわけではないが、見積の金額は例年と比べて低調である。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・4月の状況を3か月前である1月と比較すると、水揚数量は174トン、水揚金額は2,630万円の減少である。また、前年同月と比較すると、水揚数量は594トン（前年同月比147.0%）、水揚金額は245万円（同100.7%）の増加である。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・価格値引きの影響は6月以降になりそうだが、現在は付加価値も少し低下してきている。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来店及び成約件数は、前年同月比で増加しているものの、需要時期ではないため、前月よりは減少している。
	その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が低下している。
悪くなっている	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き低価格化の流れが顕著で、材料の値段交渉を継続して実施している。また相変わらず、デパート関係の販売状況が思わしくなく、販売は苦戦している状況が続いている。
雇用関連	良く なっている	-	-

やや良くなっている	人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・主に輸出関連製造業の企業業績が向上してきており、一部採用の話が出てきている。
	求人情報サイト運営（支店長）	周辺企業の様子	・新卒・中途採用ともに企業からの問い合わせが増えており、企業の採用意欲は上向きである。11年新卒採用は後半戦とも言える時期だが、これから採用活動したいとする企業が出てきているのは特徴的な傾向とみている。
	求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・株安、円高傾向だが、中途の求人数は増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は4か月連続前年同月比で増加した。基幹産業の製造業は6割増となり、特に食料品やハードウェア製造関係の増加が目立った。最悪の状況だった前年同月と比べて一部の業種で持ち直しの動きがみられる。
変わらない	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・主に製造業において新規事業開発のための採用が開始している。米国の大手金融機関の破たん後の売上激減から持ち直しつつあり、若干余力の出してきた今、将来の事業の柱となる先行投資が始まっている。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と求人数及び引き合い数があまり変わらない。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・短期の繁忙対応要員の派遣依頼は増えてきているが、一時的な需要であり継続的なものではない。景気が良くなっていると肌で感じるほどではない。
	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・来春卒の学卒については順調に選考が進んでいるが、追加対策を要する企業が少ない。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・大学新卒者の採用は悪い状況である。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・パートを中心に求人数は増加傾向にあるものの、求職者数の伸びがそれを上回り、追いつかない状態である。
悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・景気の変動による人員整理での離職者や待遇面の向上を希望する在職者の求職の申込みが増加している。またそれに加えて、長期間にわたって離職していた無業者の求職申込みも増加している。